

令和2年2月18日

野々市市議会議員 中村義彦 様

(報告者)

会派名〔又は〕 公明
代表者〔議員名〕 大東 和美



政務活動報告書

下記のとおり政務活動（調査研究、研修、要望・陳情）を実施したので、報告します。

期 間	令和2年2月10日（月）13:00～16:40
研 修 場 所	国際ファッションセンター 2階 ホール2nd 〒130-0015 東京都墨田区横網一丁目6番1号
参 加 者 氏 名	大東和美
目 的 (調査・視察事項)	第22期 自治体政策特別講座 「2020年度の予算審議_まちづくりと自治体会議」
調査・視察概要	<p>13:00～16:40</p> <p>■住沢博紀（事務局長）司会進行 あいさつ ヨーロッパの現代政治 日本では高校生議会</p> <p>■竹下譲（会長）あいさつ 議員は職員の話聞くことで済ましてしまい、うのみにしている。 現場を探ろう 実態をわかって 予算の実態を知ろう 議会としてまとめて 例えば地元の小学校の先生。子どもたちを預ける人を知ることが大切。 学習指導要領を勉強しているのか？ 議員同士で議論して予算審議をしてほしい。 基礎知識をつけて現場に役立つ知識を身につけてほしい。</p>

第1講義 2020年度の地方財政、傾向と審議のポイント

宮崎雅人（埼玉大学大学院人文社会学研究科准教授）

地方財政の仕組みと2020年度地方財政の傾向や問題点から議会で審議すべきポイントについて。予算書や決算書を解説。

財政という観点から議会人としてのあり方について考える。

ポイント：

予算とは何か？

- ・財政のコントロールシステム

地方財政と予算

- ・中央政府予算との違い

強い首長権限

- ・専決処分 いくつかの事例

議会の置かれる立場

- ・議員の質問には、執行部局に「気づき」を促し、他の自治体にひけをとらない行政を実施させようとする大きな意義がある。
- ・政策の問題点を指摘することにより、緊張感が生まれるのではないか。

多選首長に対する牽制役

- ・ワンマン化する多選首長に対抗できるのは議会

財政は厳しいかもしれないが・・・

- ・住民にとって必要であれば、どんどん要求していくべきではないか。

令和2年度の地方税

令和2年度の地方財政対策

令和2年度から普通交付税へ

令和2年度の地方譲与税

使い切れないときに困る目的税

令和2年度の地方債・・・単独事業として緊急的に河川の堆積土砂の撤去など

決算について・・・現在の決算制度は終始の整理が中心、その結果、次年度の予算に活用されていないことが問題

- ・決算認定を活用して次年度予算に影響を与えることは不可能ではない。

質問する力を鍛える

- ・「つつこみ力」おもしろさ、笑い（議会を盛り上げる）、愛（わかりやすさ）、勇氣（権威を恐れぬ）

■司会進行

アメリカのトランプ、若い世代は、どう受け止められるかが重要。
正しい話は、一方的、自己満足。

ヨーロッパでも、アメリカでも、信じられない時代。

令和2年 転換期

質問のツボが大事。

■質問コーナー

Q:地方では、二元代表制、与党・野党は地方議会ではないと思います。
他多数あり。

住沢事務局長

2月の財政

予算書の注目すべきポイントは？

A:財政分析する時、時系列で見る必要がある。複数年度見て、今年度、何か個々に変化がある。直近の予算、特徴、時系列で見るのがその自治体のHPにデータが載っているのが比較的わかりやすい。入門書もあるので見て下さい。

第2講義 地域の暮らしを支える行財政システム_地方債・積立金の活かし方

武田公子（金沢大学人間社会学域 経済学類教授）

地域創生が本当に地域のためになるには、自治体財政の過度な経費削減と積立金増加などゆがんだ実態をただし、地方債を賢く使うこれからの財政運営を考える。

1、地方財政をめぐる「嘘」

地方債残高が少なく基金残高が多いことが「健全」か？

2、基金の現状とその問題

3、事業の資金調達方法と世代間公平性

4、地方債の起債状況と交付税措置

5、正しい地方債・基金運用の考え方

・終わりに

世代間負担、便益公平性から、耐用年数を長期で返還すればいいのに、大概是10年から15年で返還している。

例えば、「道の駅」など、地域的に投下する交付税算入されるものは、取り組んだ方がいい。

	<p>■質問コーナー</p> <p>Q. 市議会として普通交付税への信頼 普通交付税から特別交付税へ、喜んでいいのか？</p> <p>A: 細かな需要額（電話帳の厚さ）交付税分としては見えないが、この制度変化でどのくらい変化があったのか、補助金に比べると薄いですけど。</p> <p>Q. 将来、公共施設の老朽化を加味すべきではないか？</p> <p>A. 特別交付税でもって国の負担分以外の自己負担分が0。復旧事業債は発行しなくて済んだ。一般財源負担を0にする。 何も罪悪感を持つ必要はない。 他多数あり。</p> <p>所感：全国から集まる議員の質問レベルの高さに嫉妬する。 新しいデータを取り入れるためには、むしろ空間が必要。時代はすっかり変わったと実感させられる。20年のキャリアはかえって邪魔になる、私の20年間の取り組みを綴れば歴史書になるかもしれない。しかし、この偉大なるショックは求めなければ与えられない。この刺激が次なる原動力になると信じたい。</p>
備 考	

※記入欄が不足する場合は、欄を広げる等適宜調整してください。